

東日本鉄道OB会の 皆さまへ

東日本旅客鉄道株式会社
常務取締役

渡利 千春



薫風さわやかな季節を迎え、東日本鉄道OB会の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。常務取締役の渡利です。グループ経営企画、財務・投資計画、品川はじめ大規模開発を担当しております。OB会の皆さまには平素から地域との連携強化、駅構内での人身事故防止のための声かけ活動、駅などでの環境美化活動や、各種イベントへのご参加等を通して多大なご協力、ご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックから3年が経過しました。この間、通勤・通学・旅行・インバウンド需要が激減し、大変厳しい経営を強いられてきました。そんな中、この稿を書いている時点では数字は確定していませんが、2022年度の決算は連結・単体とも3期ぶりに通期の黒字を達成できそうです。グループ社員一人ひとりの努力にとどまらず、OB会の皆さまにもJRE MALLのご利用などでご協力いただいたおかげです。改めて御礼申し上げます。

この3月にはマスクなど感染予防対策が緩和されました。今月8日には感染症法上の位置づけが2類から5類に段落としされる予定です。海外のお客さまはすでに大勢来日されるようになってきました。マインドが大きく変わりつつあるこの好機を逃がさず、JR東日本グループはコロナ禍中を耐えてきた“守り”から、ポストコロナの世の中に新しい価値を提供する“攻め”に転じます。コロナ禍での様々な制約から、忘れられかけていた旅の楽しさ、対面での心温まる交流を取り戻し、笑顔でお出かけいただけるように、また海外からのお客さまには日本、特に東日本の良さを体感していただき、「また来たい」と思ってもらえるように、グループの力を合わせて取組みます。

コロナ禍に加え、ライフスタイルの変化、人口減少、金利の上昇や価格高騰など、JR東日本グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しく、また大きく動いていますが、グループ一丸となって、お客さまに信頼されている根拠である“安全”をさらに高めつつ、将来に向けた挑戦を続けてまいります。OB会の皆さまには、引き続き温かいご支援とご指導をお願いいたします。最後になりましたが、皆さまの益々のご健勝をお祈り申し上げます。

日本ワイン貯蔵「アニバーサリーワイン」 事業を開始



日本ワインを通じた地域活性化に向け、「アニバーサリーワイン」事業を昨年12月12日から開始しました。東京ステーションホテル内の専用セラー「THE CELLAR」で、購入した日本ワインを保管することができます。結婚、成人などの人生の特別な日に、時間の経過とともに変化する熟成ワインの味わいをお楽しみください。 〇東京ステーションホテル レストランセルス ☎03-5220-1114 (10~18時受付)

駅名アルファベットの取付体験を開催



3月18日に開業した京葉線 幕張豊砂駅で、「駅名アルファベット取付体験」を昨年12月17日に実施しました。千葉市と当社の京葉ベイサイドラインプロジェクト事務局が主催した「JRE MALL体験イベント」と「JRE MALLふるさと納税」の返礼品として合計34名が参加し、駅名アルファベットの取付体験に加え駅構内の見学など、お客さまの記憶に残る体験をお楽しみいただきました。

東日本鉄道OB会に社長感謝状を贈呈



1月11日、当社の営業増進並びに環境美化に、長年にわたり多大な尽力をされた東日本鉄道OB会の下記5団体に対し、喜勢副社長より社長感謝状を贈呈しました。

- 営業増進…盛岡地方本部紫波支部、高崎地方本部高崎支部
- 環境美化…仙台地方本部会津支部、新潟地方本部吉田支部、長野地方本部長野中央支部

UIC標準化組織議長にアジアから初就任



2023年1月、パリ事務所の外狩麻子マネージャーが、国際鉄道連合 (UIC) の標準化プラットフォームの議長に就任しました。これまで副議長としてUICの標準化活動へ貢献してきた実績が評価されたもので、アジア・太平洋地域の会員からは初の議長となります。UICにおける標準化活動の中核を担い、鉄道分野の規格作成などに戦略的に参画していくとともに、今後も当社技術の国際的普及を図り、国際事業の展開をさらに推進します。

「モビリティ変革コンソーシアム」の書籍を出版



「モビリティ変革コンソーシアム」の5年間の活動成果をまとめた書籍「新世代オープンイノベーション～JR東日本の挑戦 生活者起点で『駅・まち・社会』を創る」を、イノベーション戦略本部より2月13日に出版しました。約130社の会員や関係プレーヤーとビジョンを共有しながら進める新世代のオープンイノベーションの具体的な手法や事例を紹介するなど、イノベーションを創出するためのヒントが満載です。

オフピーク定期券と鉄道駅バリアフリー料金を導入

コロナ禍により社会で高まっている混雑緩和へのニーズを踏まえ、平日朝のピーク時間帯以外にのみ定期券としてご利用いただける、通常の通勤定期券より割安な「オフピーク定期券」サービスを3月18日より開始。あわせて、当社の定期収入全体として増収とまらない想定のもと、通常の通勤定期運賃を改定しました。

また、2021年12月に「鉄道駅バリアフリー料金制度」が国により創設されました。当社はこの制度を活用し、「鉄道駅バリアフリー料金」を3月18日より設定しました。

*今回の通勤定期運賃の改定はピークシフトを目的とするものであって、増収を目的としたものではありません。
国から示された処理方針に基づき、増収とまらない範囲で改定する必要があります。

混雑緩和をめざして導入するオフピーク定期券

コロナ禍を経て、お客さまは以前にも増して「混雑緩和」や「3密回避」を要望されており、オフピーク通勤をお選びいただいたお客さま・企業へのインセンティブとなるよう、3月18日から「オフピーク定期券」を右図の対象エリアにて導入しました。通常の通勤定期券とオフピーク定期券の中から、お客さまや企業の通勤スタイルに合わせて選択いただくことで、平日朝の通勤時間帯のご利用の平準化と混雑の緩和を実現し、お客さまや企業のニーズにお応えしていきます。また、当社としてはご利用の平準化により、輸送サービスの柔軟な設定や、中長期的な鉄道事業の構造改革やコスト削減を可能とし、将来にわたりサステナブルな事業運営と良質なサービスの提供をめざしていきます。

東京の電車特定区間



鉄道駅バリアフリー料金

当社では、国および地方自治体のご協力のもと、エリア全体でバリアフリーに関するハード・ソフト両面の取組みを進めてきました。今後は、特に早期整備が求められるホームドアについて、東京圏の在来線主要路線の線区単位で330駅758番線へ整備拡大することに加え、これまでの計画より1年前倒しして、2031年度末頃までの整備をめざします。これらの整備を進めるため、国により創設された鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、東京の電車特定区間のみをご利用になる場合を対象に、下表に示す料金を旅客運賃に加算しました。

- *新幹線をご利用になる場合を含みます。
- *小児は料金加算後の大人の半額です。
- *通学定期旅客運賃は対象外です。

料金設定額 (大人)

普通旅客運賃		定期旅客運賃 (通勤)		
IC	きっぷ	1カ月	3カ月	6カ月
10円	10円	280円	790円	1420円



ホームドア

ホームドア以外のバリアフリー設備の整備予定

		整備予定*	
		2022~2025年度	2026~2035年度
段差解消設備	エレベーター	23駅 (5駅)	20駅 (7駅)
	スロープ	4駅 (3駅)	0駅 (0駅)
バリアフリースイール		10駅 (3駅)	18駅 (9駅)

*現時点で検討中のものを含みます。カッコ内は鉄道駅バリアフリー料金制度を活用して整備予定。

当社は、「オフピーク通勤」の促進を通じてご利用の平準化と混雑緩和に取り組むとともに、鉄道駅バリアフリー料金の設定により、さらなる駅のバリアフリー化を進めていきます。